



平成29年度地域の防犯環境整備促進モデル事業終了！



1 地域の防犯環境整備促進モデル事業

- 地域の防犯環境整備促進モデル事業とは、学校やPTA、地元企業及び学生防犯ボランティア等と連携して地域の防犯環境整備を行う防犯ボランティア団体に、大分県警が奨励金を交付し、その活動を支援する事業です。

平成29年度は、17団体から応募があり、その中から10団体を選定し平成29年末まで普段の防犯活動に加えて、地域の防犯環境整備を行っていただきました。

【地域の防犯環境整備促進モデル事業実施団体】

市町村	パトロール隊名
大分市	城東原川地区自主パトロール隊
大分市	別保校区ヤングサポートパトロール隊
由布市	岳本屯所見廻隊
別府市	新別府自主パトロール「みまもり」隊
杵築市	JR中山香駅周辺の環境を考える会 防犯部会

市町村	パトロール隊名
国東市	子ども達を不審者から守る会
宇佐市	「双葉の里」善光寺駅前安全・安心パトロール隊
玖珠町	玖珠地区自主防犯パトロール隊
日田市	五和地区見守り活動連絡協議会
臼杵市	下南地区安全パトロール隊

2 防犯環境整備とは

- 防犯環境整備とは、犯罪が発生しない環境を作るため、人的な防犯活動と併せて、建物、道路、公園等の物理的な環境の整備及び強化を行うことをいいます。

【防犯環境整備の具体例】

① 防犯灯・防犯ミラーの設置

暗い通りに防犯灯を設置したり、防犯ミラーを設置することにより、より安全な環境が構築できます。

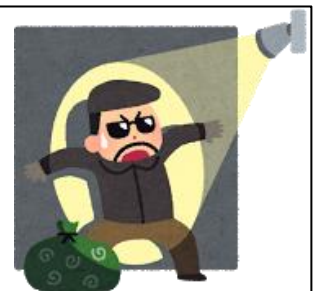
また、夜間自宅の玄関灯や事務所の外灯を点灯し、できるだけ暗闇をなくすことも有効です。

② トンネルや橋の下等の落書き消し

落書きがそのまま残されている場所は、地域の目が及んでない場所と思われ、各種犯行場所として利用されやすいので、落書き等を放置しないことが大切です。

③ こども連絡所の整備

子供達がもしもの時に駆け込めるお宅をこども連絡所に指定し、地域全体で防犯に取り組むことが大切です。



県内では、多くの防犯ボランティア団体が防犯活動に取り組んでいます。

皆さんも、地元のボランティア団体の方々と一緒に活動してみたいかがですか？





地域の防犯環境整備促進モデル事業活動紹介

- 平成29年度に実施した地域の防犯環境整備促進モデル事業の実施団体に選ばれた防犯ボランティア団体の中から、今回は2団体の活動をご紹介します！

JR中山香駅周辺の環境を考える会 防犯部会【杵築市】

1 団体の紹介と応募理由

当会は、平成8年に「一地域一安全活動」として、駐在所員の声かけで地区住民有志により発足しました。

当地区では、車上荒らしの発生や駅駐輪場の放置自転車が增加するなど、地域住民の体感治安が悪化していたことから、活動を充実させ、近年増加している女性・子供の犯罪被害を未然に防止する目的等により応募しました。

2 主な活動内容

(1) 乗り物盗の未然防止活動

中山香駅駐輪場において、乗り物盗防止ののぼり旗を掲示し、利用者にチラシ・ワイヤー錠を配布するとともに、定期的に放置自転車を撤去しました。

(2) 交差点ストップマークの貼付

小中学校通学路の主要交差点18箇所にストップマークを貼付しました。マークは、滑り止め加工され高輝度の反射材を使用しており、夜間でも視認性は非常に良好です。



子ども達を不審者から守る会【国東市】

1 団体の紹介と応募理由

当隊は、武蔵町向陽台地区住民25名で構成されており、「子供達のために今、何ができるか」という立場で研究し、実践することを目的に設立しました。

当地区の防犯意識をより活性化させるとともに、地区の子供達の安全・安心を確保するため応募しました。

2 主な活動内容

(1) 通学路クリーン作戦

子供達、地区住人とともに通学路の除草作業を行いました。地区住民の連帯感の醸成と防犯意識の向上を図ることができました。

(2) 車による自由パトロール

当隊では、自家用車に「防犯パトロール」と記載したサンバイザーを設置して、少しの外出でもパトロールができるようにしています。



【サンバイザーの状況】



本事業に選定された防犯ボランティア団体は、奨励金を活用し、工夫をこらした防犯活動を実施しました。

